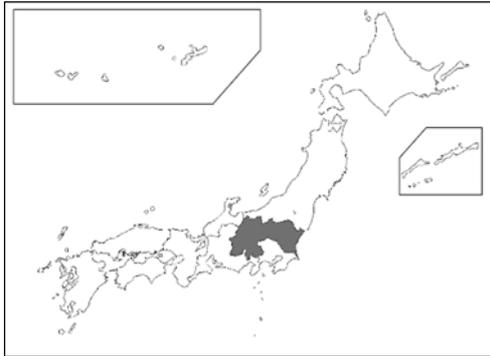


### (3) 北 関 東



北関東地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は弱含んでいる。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(   は上方に変更、   は下方に変更)

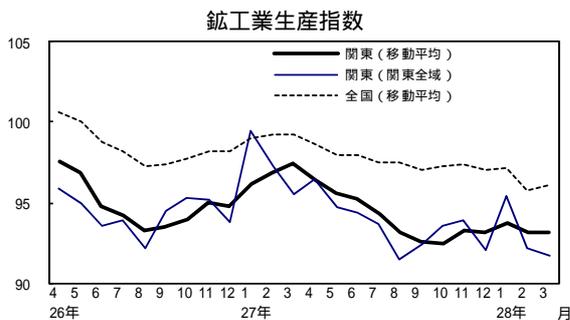
#### 前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 28 年 2 月)	今回 (平成 28 年 5 月)	
住宅建設	大幅に減少	大幅に増加	

### 1. 生産及び企業動向

#### (1) 鉱工業生産は弱含んでいる。(関東全域)

輸送機械は海外向けの駆動伝導・操縦装置部品や国内向けの懸架制動装置部品等を中心に増加した。電気機械は電力変換装置等を中心に減少した。情報通信機械はネットワーク接続機器、端末装置等を中心に減少した。生産用機械は海外向けの半導体製造装置や数値制御ロボット等を中心に増加した。



(備考) 1. 22年=100、季節調整値。最新月は速報値。  
2. 全国及び関東の太線は後方3か月移動平均。

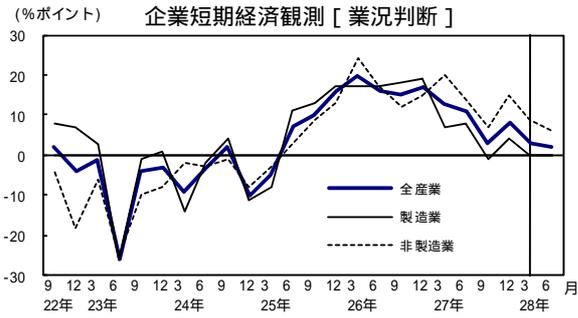
域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10~12 月期	1~3 月期	1月	2月	3月
輸送機械	18.6	1.2	1.5	8.0	3.6	4.0
化学	15.1	0.2	-	2.3	0.6	-
電気機械	9.3	2.7	2.7	2.5	6.1	1.7
情報通信機械	6.2	6.0	1.0	3.3	1.8	8.5
生産用機械	6.1	2.2	1.2	8.6	11.9	4.5
鉱工業	100.0	0.6	0.0	3.7	3.4	0.5

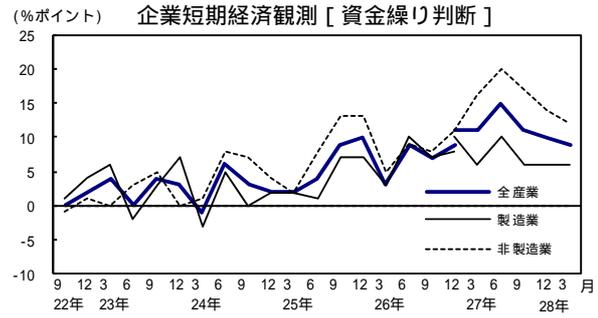
(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。

2. 1~3月期、3月は速報値。化学は速報値では公表されていない。

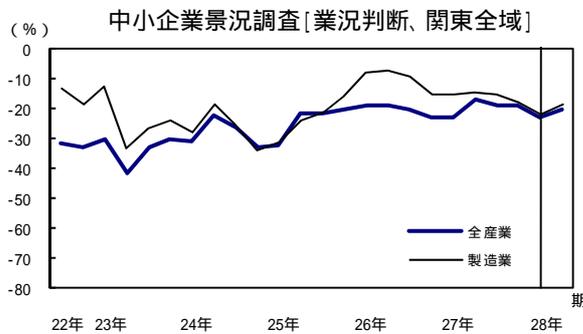
(2) 業況判断は「良い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。  
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。28年6月は予測。  
26年12月は新・旧基準を併記。  
日本銀行前橋支店管内。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。  
26年12月は新・旧基準を併記。  
日本銀行前橋支店管内。

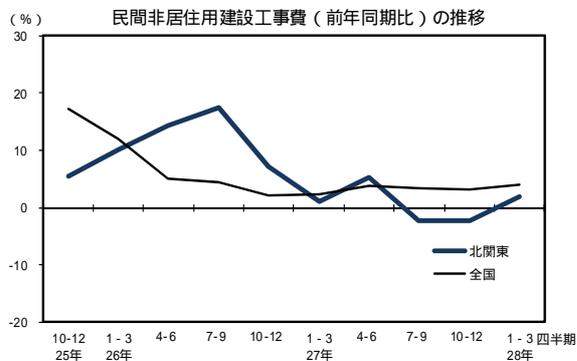


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。28年 は見通し。

景気ウォッチャー調査(4月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「製造業については、取引先の動向に変化を感じられない。観光業のホテル、土産物店については、外国人観光客が増加しており、宿泊、売上状況は良好である(金融業)」等の回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は増加している。



企業短期経済観測調査 [設備投資(3月調査)]

(前年度比、%)

	27年度実績見込み	28年度画
全産業	2.9 (1.9)	11.7
製造業	3.4 (2.7)	18.2
非製造業	17.0 ( 0.2)	5.8

(備考)( )は前回(12月)調査比修正率。

日本銀行前橋支店管内。

(3) 北関東

2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

1月は前月比0.2%減、2月は同0.2%増、3月は同1.3%増となった。

百貨店・スーパー販売額

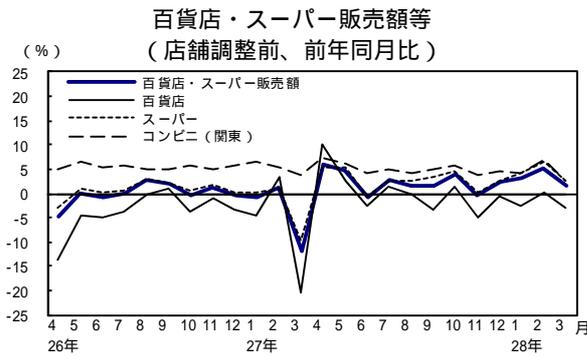
百貨店は、1月は暖冬の影響で衣料品や身の回り品の動きが鈍かったこと等から、前年を下回った。2月は飲料品、その他の商品の動きが良かったこと等から、前年を上回った。3月は気温の変動が激しく衣料品や身の回り品の動きが鈍かったこと等から、前年を下回った。

スーパーは、飲食料品等に動きがみられたことから、前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (4月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

北関東地域の家計動向関連DIは、41.8となり前月に対して低下した。

「車両販売は軽自動車中心で売上高が微減、また、車検台数が前年比10%くらい落ち込んでいる。努力をしているのだが少々辛いところである(乗用車販売店)」等「やや悪くなっている」とする回答が増加した。

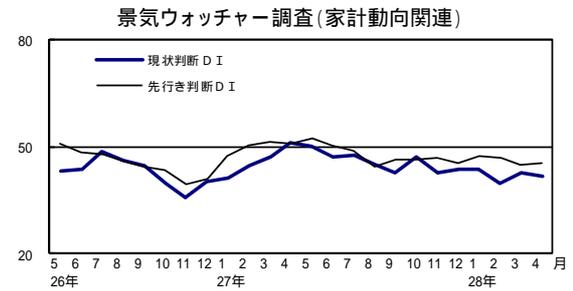
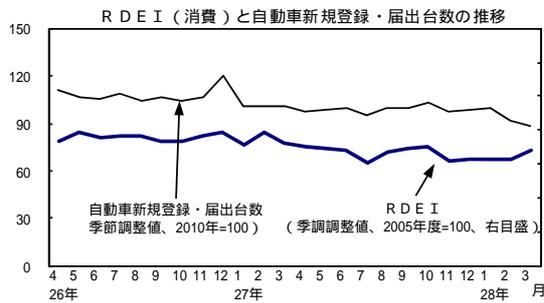


	28年1-3月	28年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	0.0	0.2	0.2	1.3
百貨店・スーパー(*2)	3.3	3.2	5.2	1.7
百貨店(*2)	2.0	2.6	0.2	3.1
スーパー(*2)	4.3	4.3	6.4	2.4
コンビニ(*2)	4.5	4.0	7.0	2.7
乗用車(*3)	7.7	2.6	7.6	10.9
(季節調整値)(*3)	6.8	0.6	7.9	3.9

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同(月)期比(新潟、静岡を含む)  
コンビニは、関東全域

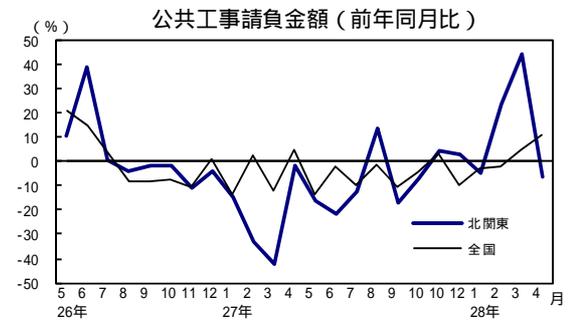
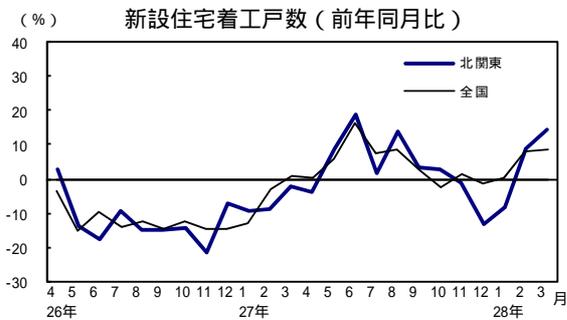
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月比(%)))



(2) 住宅建設は大幅に増加している。

持家が前年を上回ったことから、全体では大幅に増加している。

(3) 公共投資は27年度累計ではほぼ同水準となっている。

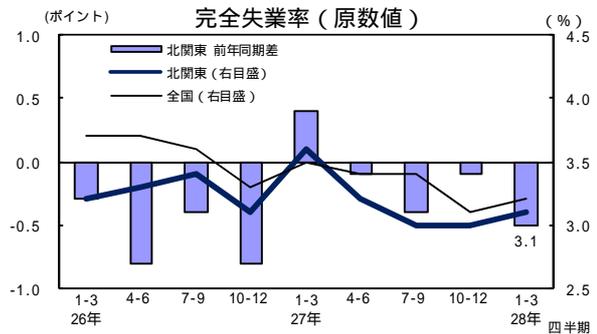
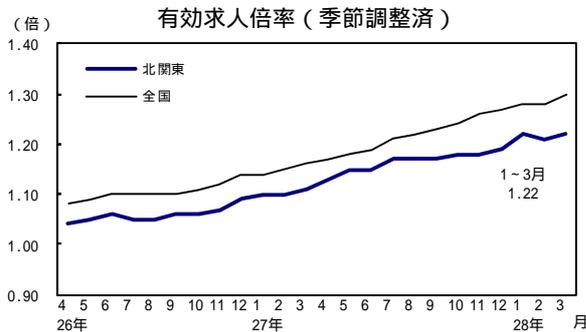


### 3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



景気ウォッチャー調査 (4月調査結果) [雇用関連 (現状)]

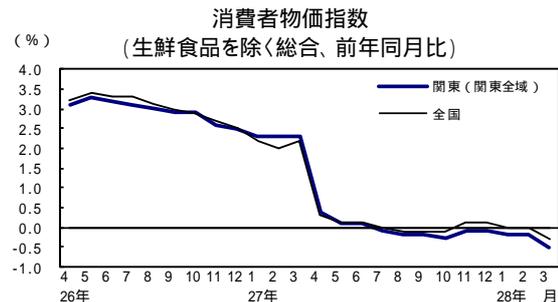
「4月は新年度スタートの月に当たり、周辺の大手企業は新卒採用を増やしたので、中途採用はほとんどしていない。求人募集は特に飲食業が多い(求人情報誌製作会社)。」等の回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに減少している。

(3) 消費者物価指数は、前年比の下落幅がおおむね横ばいとなっている。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	27年4-6月	7-9月	10-12月	28年1-3月	28年4月
倒産件数	116	130	120	136	46
(前年比)	0.9	15.6	14.9	6.8	39.4
負債総額	269	395	228	343	64
(前年比)	13.3	27.9	0.2	35.1	57.1



景気ウォッチャー調査 (4月調査結果) [合計 (景気判断において熊本地震に言及したもの)]

<現状>

・新規の引き合い案件は出てきているが、受注の伸びは鈍化傾向にある。また、堅調に生産をしていた自動車量産部品も熊本地震の影響で取引先より納入ストップの指示があり、売につなげることができない状況にある (一般機械器具製造業)。

<先行き>

・来客数、予約数、各テナントの予約状況を見ても、若干下向きになっている。熊本地震の影響等もあり、やはり必要なものだけを買回るといった客の様子から、今後影響が出てくるものと思われる (その他サービス [立体駐車場])。

